



報道資料

2009年3月3日

アートアワードトーキョー丸の内実行委員会

新たな才能を、世界へ向けて発掘するパブリックアワード展
「アートアワードトーキョー 丸の内2009」開催

ゲスト審査員に村上隆氏を迎え、美大・芸大卒業制作約50作品展示

4月29日(水・祝)～5月31日(日)

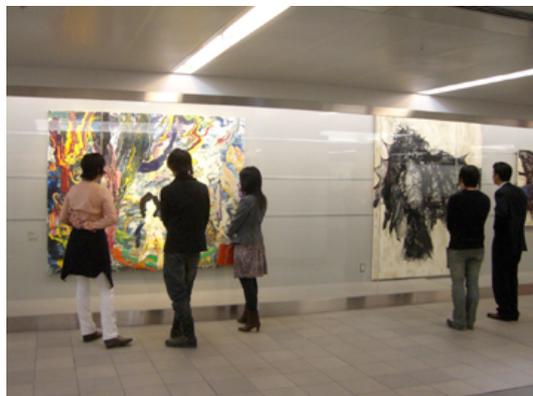
アートアワードトーキョー丸の内実行委員会(大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会)は、4月29日(水・祝)～5月31日(日)の期間、丸ビル・新丸ビルに隣接する公共空間、行幸地下ギャラリーにおいて「アートアワードトーキョー 丸の内2009」(A.A.T.M.)を開催します。

今年で3回目を迎える A.A.T.M.は、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展です。全国の美術大学・芸術大学の卒業制作展から選抜した、新たな活力と躍動感あふれる個性豊かな作品約50点をパブリックスペースに展示します。初日の4月29日(水・祝)には、村上隆氏をゲスト審査員に招き、会場にて最終審査会を公開実施。グランプリ賞、審査員賞のほか、アワード各賞を選出します。2007年にスタートして以来、本アワードに選ばれた多くのアーティストがここからチャンスを得て活躍を始めるなど、若手アーティストの登竜門として着実に成果を上げています。

本イベントは、丸の内を訪れる方にまだ芽吹く前の多彩な才能に接し、楽しんでいただくことで、「新しい体験や刺激」を創出する場を提供することも目指しています。さらに今年からは、一般の方の投票で決定するオーディエンス賞を導入し、より開かれた展覧会を目指します。未来を占う若き才能の競演を是非ご覧ください。



2008年度グランプリ
太田黒衣美(東京藝術大学)
『Internal Zoo』



2008年会場風景
(行幸地下ギャラリー)

「アートアワードトーキョー 丸の内2009」開催概要

開催日時: 4月29日(水・祝) 11:00~13:00 最終審査会、17:00~受賞発表会

4月29日(水・祝)~5月31日(日) 展示 会期中無休

時 間: 11:00~20:00

開催場所: 行幸地下ギャラリー 東京都千代田区丸の内 2-4-1(行幸通り地下)

入 場: 無料

内 容: 若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術のアワード展。若い多彩な才能が、行幸地下ギャラリーというパブリックな場所に一堂に介するのが最大の魅力です。国内の美術大学・芸術大学の卒業制作から、一次審査の対象となる作品を選定した上、一次審査を通過した作品50点を展示。初日の4月29日(水・祝)には、最終公開審査会を実施します。アート界を牽引する8人の審査員に加え、今回ゲスト審査員には、アーティストでありGEISAI チェアマンとして若手アーティストを応援する村上隆氏をお招きし、グランプリ賞、準グランプリ賞、審査員賞、オーディエンス賞、シュウ ウエムラ賞の全13賞を決定します。

アワード各賞:

グランプリ賞 1名

準グランプリ賞 1名

審査員賞 9名

オーディエンス賞 1名

観客の皆様の投票で決定。A.A.T.M.の会場で投票。投票期間: 4/29~5/6

シュウ ウエムラ賞 1名

シュウ ウエムラは、—the art of beauty— すなわち、美とアートの融合を追求し続ける化粧品ブランドです。才能溢れる若手アーティストの育成に貢献していきたいと考え、シュウ ウエムラ賞を設立しました。受賞者にはデザインコラボレーションの機会が与えられ国際デビューへの扉が開かれます。

審 査 員:

ゲスト審査員 村上 隆 (GEISAI チェアマン、アーティスト)

審査員 天野 太郎 (横浜美術館 主席学芸員)

飯田 志保子 (東京オペラシティアートギャラリー キュレーター)

後藤 繁雄 (京都造形芸術大学 教授)

木幡 和枝 (東京藝術大学先端芸術表現科 教授)

小山 登美夫 (小山登美夫ギャラリー 代表、明治大学国際日本学部 特任准教授)

佐藤 直樹 (ASYL アートディレクター、多摩美術大学造形表現学部デザイン学科 准教授)

高橋 明也 (三菱一号館美術館 館長)

長谷川 祐子 (東京都現代美術館チーフキュレーター、多摩美術大学 特任教授)

※村上隆 氏・・・日本発の新しいアートの土壌を開墾すべく、日本で通算14回、海外で3回のGEISAIを主宰。延べ15万人を超える若手のアーティストたちに、デビューの場を提供。村上隆自身の活動もクリエイティブフィールド全般にわたり、主催する法人カイカイキキでは、08年より、映画、漫画、TV番組制作を始める。今回のグランプリ、村上隆審査員賞受賞者には、次回GEISAIへの参加資格が与えられます。

※GEISAIとは・・・2001年よりスタートした村上隆プロデュースによるアートの祭典。春と秋年2回東京ビッグサイトで開催。参加資格は特になく、さまざまなスタイルのアートが集結し、世界中のアーティストとアートファンの熱気で賑わいます。

主催:アートアワードトーキョー 丸の内実行委員会
(大手町・丸の内・有楽町地区再開発計画推進協議会、NPO法人大丸有エリアマネジメント協会)
協賛:shu uemura
特別協賛:三菱地所株式会社
お問合せ:アートアワードトーキョー 丸の内 実行委員会事務局
URL <http://www.artawardtokyo.jp> Mail: info2009@artawardtokyo.jp

審査員メッセージ

小山登美夫(小山登美夫ギャラリー 代表、明治大学国際日本学部 特任准教授)

「第3回A.A.T.M.によせて」

いま、世の中は日本も含め大変なことになっています。でも、アーティストはいつの時代も作品を作り続けてきました。新たな価値を模索し続ける。そしていま、新しいものとそれを作り出す勇気を提示する最大のチャンスなのかもしれません。自分たちの時代を見つめて、歴史を紡ぎだす、その才能と意志を見つけることが3回目となるアートアワードトーキョーの大きな目的だと思います。是非、ご期待ください。

後藤繁雄(京都造形芸術大学 教授)

「予兆のショーケース、A.A.T.M.」

私たちが望むと望まざるに関わらず、あらゆる表現物は時代の「おとしご」である。安楽な時代が、傑作を生むとも限らず、逆にアートは不安と希望の入り交じったインヴィジブルな混沌の中から飛び出してくる。A.A.T.M.は、この数年できわめて注目すべき才能を輩出する有力なショーケースに成長したが、それは創る者と観る者(選ぶ者)の、挑戦とエキサイティングが同居しているからだ。世界を動かすどんな予兆に満ちた作品と出逢えるか、そう思うとゾクゾクする！

「ART AWARD TOKYO 2008」出展作家の活動状況

過去 2 回の A.A.T.M.参加アーティストの中からは、アート界で活躍目覚ましい注目アーティストが多く誕生しています。A.A.T.M.からステップアップしていく彼らの今後にもご期待ください。

2008年度グランプリ賞受賞者メッセージ 大田黒衣美さん(東京藝術大学)

沢山の人に作品を見てもらえるきっかけとなり、また、美術関係者の方のお話を聞ける貴重な機会となりました。これからの自分自身を方向付け、また自分では気付かなかった問題点を知るよい展覧会となりました。

海老原 優 (ART AWARD TOKYO 2008 参加)	平成 20 年度文化庁メディア芸術祭奨励賞受賞
大矢加奈子 (ART AWARD TOKYO 2008 参加)	群馬青年ビエンナーレ 08 大賞受賞
鈴木光 (ART AWARD TOKYO 2008 審査員賞)	群馬青年ビエンナーレ 08 入選
山路紘子 (ART AWARD TOKYO 2008 審査員賞)	群馬青年ビエンナーレ 08 入選
村上滋郎 (ART AWARD TOKYO 2008 審査員賞)	トーキョーワンダーウォール 2008 大賞受賞
杉田陽平 (ART AWARD TOKYO 2008 参加)	トーキョーワンダーウォール 2008 ワンダーウォール賞受賞
風能奈々 (ART AWARD TOKYO 2008 審査員賞)	2009 年 VOCA 展(上野の森美術館)推薦出品
住田大輔 (ART AWARD TOKYO 2008 参加)	2009 年 10 月「n project 39」(オペラシティアートギャラリー)展示

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
三菱地所ビルマネジメント株式会社 丸の内PR事務局
TEL 03-3403-0292/FAX 03-3403-0359
E-mail marunouchi@ozma.co.jp